

騒音・危険・資産価値低下

羽田増便による低空飛行ルートに反対する川崎区民の会 ニュース

2025 年 10 月 N0-30 代表世話人 橋 孝 Tel 044-287-7313 ・ 田辺一雄 Tel 044-333-7833

橋本勝雄 E-mail : Katsuo.hashimoto@gmail.com

— 安心・安全な町づくりを —

みなさん、力を合わせて政治を変え、「命が守られ、安全な環境の下で生活できる」地域にしましょう。
5年半前までの「海から入って海に出る」東京湾海上ルートに戻させましょう。

『飛行直下の原子力施設と安全』

お話：後藤政志さん (9/26)

(原子力市民委員会 技術・規制部会長)

浮島地区の東芝エネルギーシステムズ(株)原子力技術研究所及び研究炉管理センターについて、国は住民に「廃止措置中のため、心配ない」と説明してきました。しかし、今も核燃料・核廃棄物を保管しており、羽田空港から 2Km 程しか離れていません。もし航空機が落下したときや、石油コンビナート火災が発生した場合、放射線物質の拡散と被ばくを防止できるか懸念されます。日本共産党の後藤まさみ市議に調査の協力をお願いし、市当局がどのように評価しているか説明を求めました。

川崎市の説明は、「原子力規制庁の許可を受け、核燃料は適切に保管、核廃棄物は専用倉庫に 2000 ドラム缶で保管」という。それらの説明について、東芝の原発設計にも従事した専門家に科学的に評価していただきました。

後藤政志さんのお話 (要約)

◎丁寧な説明を

「問題ない
というが、
その数値の
根拠・意味
を丁寧に説
明しなければ、一般の
人には解り

にくい。また、事業者と規制機関の口約束ですまされていないか確認した方がよい。

◎放射性物質の拡散の心配

コンビナートの規模と火災の状況にもよるが、放射性物質の拡散と被ばくの防止ができるのかは、「できない可能性が高い」。だからリスクが高くなることを覚悟する必要がある。

◎墜落の危険

年間の落下確率が 1 千万分の 1 以下が安全性の

基準と言うが、確率が低くても落下衝突事故が起きれば百パーセント被害が出る。だから最初から航空機事故の場合の強度評価をしておき、対策を考えるべき。

◎安全性

安全とは、許容できないリスクがないこと。重要なことは、そのリスクを判断するのは「リスクを負う潜在的被害者自身」である。日常的に事故のリスクを負わされることは、著しく公平性に欠ける。人権問題である。国政(政府の方針) > 地方住民の人権、というのは間違い。



東芝エネルギーシステムズ(株) (元)原子力研究所

羽田空港の滑走路から、約 2 km 程度しか離れていない。
浮島地区へ核施設に航空機落下がする、あるいは隣接する石油関連工場(東燃ゼネラル石油等)への墜落と火災の発生が懸念される。



羽田低空飛行見直しのための議員連盟 国交省の担当者から聞き取り

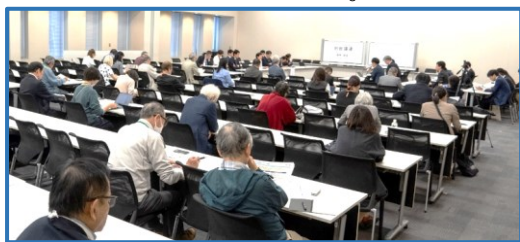
羽田空港の新飛行ルートの見直しを求める超党派の野党国会議員で作る議員連盟が10月15日、衆議院第一議員会館で「聞きとり」を行いました。

新ルートの「固定化を回避する」検討委員会後の2回目の説明会になり、国土交通省から次の4点について説明がありました。

- ① 固定化回避検討会の現状
- ② 千葉県との騒音共有
- ③ 安全性の懸念
- ④ 航空政策全体の中の羽田空港の位置づけ

現在検討されている RNP-AR 方式は、航空機の搭載無線設備が整うまで10年以上の年月が必要とされ、かつ新たな騒音を生み出すとして議員から説明を求められました。

海上ルートに戻すことを真剣に検討しているのかという議員からの質問に対し回答は有りませんでした。本気で解決を目指しているのでしょうか？ なお、川崎区上空ルートは固定化回避の検討課題に盛り込まれていません。



【 川崎駅前宣伝 】

新飛行ルートに反対する「川崎区民の会」は10月11日、川崎駅前で宣伝を行いました。

参加者のスピーチ：羽田空港の滑走路上で日本航空の旅客機が海上保安庁の小型機に衝突・炎上した事故(2024年1月)。韓国のチェジュ航空機は、着陸直前に鳥との衝突が原因と言われ、フェンスに衝突炎上した事故(2024年12月)。2025年6月に発生したエア・インディアはアフマダーバード国際空港を離陸し30秒後に学生寮に墜落し、230人の乗員・乗客と学生寮にいた医学部生24人が亡くなった事故が発生。私たちの不安が増しています。羽田空港のB滑走路を離陸する飛行機は、30秒後には多摩川の上空を飛行し、私たちが住む田町や江川の上空を通過し、石油コンビナートと原子力研究所の上空に到達します。ここには保育園・幼稚園・病院・小学

校・養護施設等があります。

5年半前までは静かで安心して過ごせる普通のまちで

した。子どもたちも「どうして私たちの頭の上を飛行機が飛ぶようになったのか」など、市長にも手紙を出していると親御さんから聞いています。

羽田空港を離陸直後の飛行直下に住宅地・石油コンビナート・原子力研究施設がある危険な飛行ルートは世界で川崎だけです。5年半前の海上ルートに一日でも早く戻して欲しい。というのが私達の願いです。

+++++ お知らせ +++++

公共交通の安全・平和・人権を考える集会

主催：JAL 争議を支援するかながわ連絡会

日時：11月15日(土) 13:00～16:30

会場：横浜酒販会館ビル 5階ホール

(JR 関内駅北口改札口から1分)

JAL 被解雇者労働組合の他、「羽田増便による低空飛行ルートに反対する川崎区民の会」、「南武線ワンマン運転化の中止を求める川崎市民連絡会」、横浜港湾労働組合の活動報告を予定しています。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

☐ ホームページを開 設 ☐

Web で羽田増便による低空飛行ルートに反対する「川崎区民の会」で検索又は URL <https://flight-route.com> と入力して下さい。



《 11・12月行動計画 》

☆ JR 川崎駅東口宣伝

11月8日 14時～15時

12月13日 14時～15時

☆ 拡大世話人会 (プラザ田島実習室)

11月28日(金) 15時～16:30

12月26日(金) 15時～16:30

☆ マルエツ前宣伝

11月11日(火) 15時～16時

☆ 京浜急行川崎大師駅前宣伝

11月22日(土) 14時～15時

12月27日(土) 14時～15時